文責・図|

関根健司

(せきねけんじ 平取町教育委員会アイヌ文化学習特命・二風谷小学校アイヌ語講師)

陳田瑋(政治大学民族学学科博士課程、

北海道大学アイヌ・先住民学講座博士後期課程)

関根摩耶(せきねまや日本慶応義塾大学)

文·圖-關根健司

(SEKINE Kenji 平取町教育委員會愛努文化學習特聘、二風谷小學愛努語講師)

關根摩耶

(SEKINE Maya 日本慶應義塾大學)

Ainu Classes

ヌ語教室





愛努語教室

北海道原住民族爱努族,因受到戰前的同化 造成爱努語長期處於弱勢,族人逐漸 以日語作爲母語,愛努語也一步一步進入失語狀態,把 爱努語作爲母語的族人也屈指可數。2009年聯合國教科 文組織將愛努語指定爲瀕危語言,瀕危等級爲「極度危 險」,然而,戰後80年代,北海道二風谷地區的愛努族 人有鑑於族語傳承的重要性,創辦了愛努語族語教室, 也影響到北海道各地的族人發起當地的族語教室。本刊 本次有幸邀請到二風谷地區長期致力於教授族語的關根 健司,以及在當地學習愛努語後目前從事愛努語教學活 動的愛努女大生關根摩耶,透過父女兩人的介紹,相信

能讓讀者更能深刻了解愛努語的教育傳承情況。

関根健司(せきねけんじ):

「アイヌ語は日本語とはまったく違う言語です が、現在、日常会話で不自由なく話せる人はい ない状況です。しかしネイティブ話者の録音音 声は沢山残っておりそれらも活用しながら日常 会話言語としての復興運動を行っています。二 風谷アイヌ語教室は1983年、故萱野茂氏が始め て以来、今までずっと続いています。大人の部 と子どもの部に分かれており、私は子どもの部 の講師を約15年続けています。現在教室には保 育園児から高校3年生までの20人が参加してお り、週に1回1時間半、歌、紙芝居、カルタ、踊

關根健司(SEKINE Kenji):

「愛努語跟日語可說是完全不同的語言,現 在愛努語的情況是日常對話沒有人能夠自由 操語。但是,因為有留下大量的母語者錄音 資料,所以目前能活用這些資料,進行日常 對話的語言復興運動。二風谷愛努語教室是 1983年由已故萱野茂先生發起以來,至今仍 持續運營。族語教室分為大人組跟兒童組, 我持續擔任兒童組講師大概有15年了。現在 教室有20人參加,參加者從幼稚園園童到高 中3年級,每週上課一次,每次1個半小時, 主要會進行唱歌、紙芝居(連環話劇)、紙 牌、舞蹈等活動,但深切感受到孩子們接觸 愛努語的時間太少,今年從4月開始改成每週 2次上課。至今為止有幸有機會學習到紐西蘭 毛利族語言復興的方法,了解到毛利族族人

単語カルタを使いアイヌ語を覚える。 使用單字卡來記愛努語

科文組織將愛努語指 風谷地區的愛努族,極度危險」,然而組織將愛努語指定的

46 原教界2020年02月號91期







ジェスチャーゲームをしてアイヌ語を覚える。 透過手勢遊戲來學習愛努語。

り、などを主に行っていますが、子どもたちがアイヌ語に触れる時間の少なさを痛感しており、今年の4月からは週2回にすることにしています。今までにニュージーランドのマオリ族の言語復興の方法を学ぶ機会に恵まれ、マオリの人たちが、ギターを弾きながら、マオリ語の歌をたくさん歌っているのを知り私の教室でも取り入れて、沢山のアイヌ語の歌を歌っています。今後はアイヌ語の状況よりはるかに進んでいるらしい台湾の原住民言語教育の状況ももっと学びたいと思っています。アイヌ語を知ることでしか学ぶことのできない多くの知恵を伝えていくためにも、小さい頃からのアイヌ語学習をどんどん推し進めていきたいと思っています。」

彈奏吉他並演唱許多毛利族語的歌曲,所以 我也將這個學習方式導入我的教室裡,演唱 大量的愛努語歌曲。台灣的原住民語言教育 情況似乎比愛努語的狀況還要先進,所以今 後我也想更進一步學習台灣的教育情況。也 為了能傳達必須知道愛努語才能學習到的許 多知識,我想要從小開始不斷地推動學習愛 努語。」

關根摩耶(SEKINE Maya):

二風谷愛努語教室的介紹與自己的經驗

「我從5歲到小學6年級為止都參加在二風谷 每週一次舉辦的二風谷愛努語教室兒童組。 當時參加人數比現在的教室還少,幾乎是小 學生(幾乎沒有國中生或高中生),我想教



会場の二風谷生活館壁に貼っている「体の部位ボード」。 在場地的二風谷生活館牆壁貼著「身體部位壁板」。

関根摩耶(せきねまや):

二風谷アイヌ語教室の紹介と自分の経験

「私は5歳から小学校6年生まで週に一回二風谷で行われる二風谷アイヌ語教室子どもの部に通っていました。

当時は今の教室よりも人数が少なく小学生がほとんどで、(中学生や高校生はほとんどいませんでした。) ウポポ (座り歌) や、アイヌ語での自己紹介、踊り、絵などを利用しアイヌ語の単語を少しずつ覚えるというような授業形態だったと思います。

二風谷小学校の多くの友人もアイヌ語教室 いたことや、座学ではないアイヌ語学習が楽し かったために、習い事感覚で通っていたと思い ます。



學型態是利用Upopo(座歌)、愛努語的自我介紹、舞蹈、繪畫等一點一滴學習愛努語的單字。我想是因為二風谷小學校的很多朋友也來愛努語教室,而且不是坐著學習愛努語,是開心學習愛努語的關係,是以學習技藝的感覺來上族語教室。

雖然我是透過愛努語教室兒童組才學會 用愛努語對話,但也沒有學到愛努的所有一 切事物,我想我是主觀地將愛努語與愛努文 化做為自身事物。



関根摩耶幼少期にアイヌ語を中本むつ子さんから教わっていた時。 <mark>關根摩耶幼年期向中本睦子學習愛努語。</mark>

48|原教界2020年02月號91期





私は子どものアイヌ語教室によりアイヌ語 で会話ができるようになったわけでも、アイヌ の全てを学んだわけでもありませんが、アイヌ 語やアイヌ文化を自分のものとして主観的に捉 えることが出来るようになったと思います。

アイヌの血をひいていてもアイヌに興味があ



関根摩耶ユーチューブ。 關根摩耶經營YouTube頻道



伝統舞踊「ク リムセ(弓の舞)」を練習する。 練習傳統舞蹈「KU RIMSE(弓之舞)」。

っても、それを学ぶことが困難である中、私たち には二風谷という地域によって幼少期からアイヌ についての知識を得る機会がありました。

小さい頃からアイヌ文化やアイヌ語と自然 に触れることは、アイヌにとってとても重要な ことだと思います。その経験は自分のアイデン ティティに自信をつけ、私たちの軸となってい ることであり、今の私に大きく結びついている ように感じます。

現在の二風谷アイヌ語教室子どもの部では ギターや紙芝居、歌などを用いた楽しいアイヌ 語学習が行われ、「楽しいから。好きだか ら。」という素直な気持ちで生徒がアイヌ文化 やアイヌ語と触れています。私も出来ることな らば、今後もアイヌ語教室と関わり続け、アイ ヌということを楽しめる人を増やすお手伝いが できればいいなと思います。」◆

即使有承襲愛努的血脈,即使對愛努有 興趣,在其學習情況有困難之中,我們透過 二風谷這個地區從幼年期有了獲取愛努相關 知識的機會。

我從小能自然地接觸到愛努文化與愛努 語這件事,我想這對於愛努來說是十分重 要。這個經驗讓我本身的自我認同獲得自 信,成為我們的支柱,我感受到這個經驗與 現在的我有很大的連結。

現在的二風谷愛努語教室兒童組是採用 吉他或連環話劇、歌唱等方式進行快樂的愛 努語學習,學員是以『因為滿快樂。因為很 喜歡。』這樣率直的心情接觸愛努文化與愛 努語。如果我也有能力的話,今後也想繼續 參加愛努語教室,幫忙更多人喜歡上愛 努。」◆

作者簡介 | プロフィル

関根健司(せきねけんじ)

1971年兵庫県生まれ。1998年より北海道平取町二風谷 在住。平取町教育委員会アイヌ文化学習特命。「二風 谷アイヌ語教室・子どもの部」「STVラジオ アイヌ語 ラジオ講座」の講師をはじめ、北海道各地の学校でア イヌ語を教えている。関根摩耶の父。

關根健司(SEKINE Kenji)

1971年兵庫縣出生。1998年開始居住於北海道平取町二 風谷。現職為平取町教育委員會愛努文化學習特聘。擔任 座」的講師,目前在北海道各地的學校教授愛努語。關根



関根摩耶(せきねまや))

北海道沙流郡平取町二風谷という人口の7~8割がアイ ヌの血を引いている(人口400人弱)と言われるアイ ヌ文化が今でも根強く残る集落で生まれる。

現在は、大学でアイヌ語研究会に所属しながら、生き ているアイヌ語、アイヌ文化を広める活動などを行

- ●アイヌ語弁論大会2度最優秀賞受賞
- ●平成30年度STVアイヌ語ラジオ講座の講師を、務める
- ●2018年4月から日高管内を走る道南バスのアイヌ語ア ナウンスを担当など

關根摩耶(SEKINE Maya)

出生於北海道沙流郡平取町二風谷的聚落,該地人口7~8 成有繼承愛努血統(人口約達400人),今日仍有保有相 當程度的愛努文化。

現在在大學參與愛努語研究會,同時進行推廣日常生活的 愛努語、愛努文化等活動

- 獲頒愛努與辯論大會兩次最優秀獎
- 擔任平成30年度STV愛努語廣播講座的講師
- 擔任2018年4月起行駛於日高地區内的道南巴士的愛努



50 | 原教界2020年02月號91期 原教界2020年02月號91期 51